

〒657-0838 神戸市灘区王子町1-2-8

虹ヶ池ハイツ 201号

一般財団法人 兵庫県剣道連盟

TEL 078 (861) 5145

FAX 078 (802) 5240

ホームページアドレス <http://www.hyogo-kendo.org>

メールアドレス info@hyogo-kendo.org

予選会のお知らせ

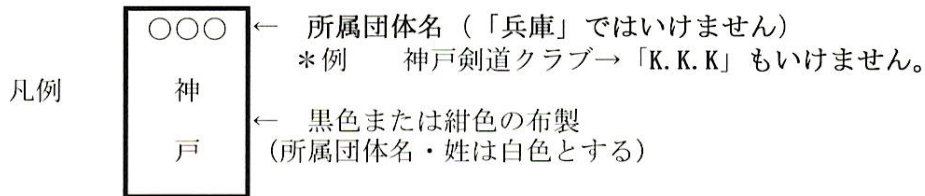
◆ 第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 予選会 ◆

※ 本大会は、平成31年4月29日（祝）大阪市で開催される予定です。
出場資格に充分ご注意の上、予選会参加の申し込みをして下さい。

1. 日 時 平成31年 1月20日（日） 午前9時受付
2. 会 場 神戸常盤アリーナ（兵庫県立文化体育館）
神戸市長田区蓮池町1-1 TEL078-631-1701
3. 参加資格
 - ① 当連盟の会員であること。
 - i 平成30年度の会員登録がされており、平成31年度も引き続き会員登録がされる会員であること。
 - ii 先鋒（高校生）は、平成30年度兵庫県剣道連盟加盟の学校団体（高等学校）に所属し、平成31年度も引き続き当該学校団体に所属する高校生で、高体連の推薦する16名以内により予選を行う。
 - iii 次鋒（大学生）は、平成30年度兵庫県剣道連盟加盟の学校団体（大学）に所属し、平成31年度も引き続き当該学校団体に所属する大学生で予選会出場は1大学2名以内とする。兵剣連加盟学校団体（大学）に所属していない大学生も、兵剣連加盟団体から一般会員登録をしておれば申し込むことが出来る。ただし代表選手に選考された場合は、平成31年度も大学に在学予定であり、一般会員登録を要する。なお、予選会出場人数は1団体2名以内とし、予選会参加申込書に在学中の大学名及び学年・出身高校名及び出身高校所在地（都道府県名）を明記すること。名札は必ず所属団体名であること。
 - ② 年齢基準は、本大会前日（平成31年4月28日）とする。
 - ③ 職業資格の基準は、県予選会参加時とし、大会当日も変更のないこと。
 - ④ 予選会出場は、県外・県内を問わず1ヶ所とし、違反した者は出場を取り消す。
4. 選考方法
 - ① 大将は、参加申込者の中から予選会において選考する。（試合は行わない）
 - ② 副将・三将・中堅・五将・次鋒・先鋒は、予選会の勝者とする。
5. 試合・審判および試合方法等
 - ① 全日本剣道連盟試合・審判規則とその細則による。
 - ② 試合はトーナメント方式による。
 - ③ 試合は3本勝負とし、試合時間は4分とする。
時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に1本とった者を勝とする。延長に入ってから試合時間は区切らずに行う。
 - ④ 当日、竹刀計量を行う。
6. 出場選手資格
本大会
チームのメンバー構成は、次の選手7名による。
先鋒・・・高校生（男子）
次鋒・・・大学生（男子）
五将・・・18歳以上35歳未満の男子
警察職員、教職員、高校生、大学生を除く
中堅・・・教職員の男子、年齢制限なし。
三将・・・警察職員の男子、年齢制限なし。
副将・・・35歳以上の男子、警察職員、教職員を除く
大将・・・50歳以上、剣道教士七段以上の男子

7. 試合者の名札について

出場選手は、剣道具の垂中央に黒色または紺色に白抜きで所属団体名（横書き）、姓（縦書き）を明記した布製の名札を必ず着けること。
所属団体名を明記していない場合は、名札を差し替えてもらうことになります。
連盟に登録している団体名（文字）であること。



8. 参加料 1人につき 1,000円（傷害保険料を含む。）
9. 申込方法 別添「予選会申込書」に参加料を添えて申し込みください。
*他府県で段位を取得された方は、証書のコピー又は、段位取得証明を添付してください。
10. 申込期日 **平成30年12月10日（月）必着**
*締め切りが早いですが、年末・年始の郵便混乱期を避けるため
ご協力ください。

◆ 第11回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 予選会 ◆

第11回大会は、平成31年7月に開催されます。
出場資格に充分ご注意の上、予選会参加の申し込みをして下さい。
なお、この予選会の先鋒（高校生）を除く20歳以上の方は国体成年女子選手候補者選考の対象といたします。会員の皆さんの予選会参加をお待ちしています。

1. 日 時 平成31年 1月20（日） 午前9時受付
2. 会 場 神戸常盤アリーナ（兵庫県立文化体育館）
神戸市長田区蓮池町1-1 TEL078-631-1701
3. 参加資格 ① 当連盟の会員であること。
i 平成30年度の会員登録がされており、平成31年度も引き続き会員登録がされる会員であること。
ii 先鋒（高校生）は、平成30年度兵庫県剣道連盟加盟の学校団体（高等学校）に所属し、平成31年度も引き続き当該学校団体に所属する高校生で、高体連の推薦する16名以内により予選を行う。
iii 次鋒（大学生）は、平成30年度兵庫県剣道連盟加盟の学校団体（大学）に所属し、平成31年度も引き続き当該学校団体に所属する大学生で予選会出場は1大学2名以内とする。
兵剣連加盟学校団体（大学）に所属していない大学生も、兵剣連加盟団体から一般会員登録をしておれば申し込むことが出来る。ただし代表選手に選考された場合は、平成31年度も大学に在学予定であり、一般会員登録を要する。なお、予選会出場人数は1団体2名以内とし、予選会参加申込書に在学中の大学名及び学年・出身高校名及び出身高校所在地（都道府県名）を明記すること。名札は必ず所属団体名であること。
② 年齢基準は、本大会前日（平成31年7月）とする。
③ 予選会出場は、県外・県内を問わず1ヶ所とし、違反した者は出場を取り消す。
4. 選考方法 ① 大将・副将・中堅・次鋒・先鋒は、予選会の勝者とする。
5. 試合・審判および試合方法等
① 全日本剣道連盟試合・審判規則とその細則による。
② 試合はトーナメント方式による。
③ 試合は3本勝負とし、試合時間は4分とする。
時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に1本とった者を勝とする。延長に入ってから試合時間は区切らずに行う。
④ 当日、竹刀計量を行う。
6. 出場選手資格 チームのメンバー構成は、次の選手5名による。
本大会 先鋒・・・高校生（女子）
次鋒・・・大学生（女子）
中堅・・・18歳以上、35歳未満の女子。高校生、大学生を除く。
副将・・・35歳以上、45歳未満の女子。
大将・・・45歳以上の女子。

7. 試合者の名札について

出場選手は、剣道具の垂中央に黒色または紺色に白抜きで所属団体名（横書き）、姓（縦書き）を明記した布製の名札を必ず着けること。
所属団体名を明記していない場合は、名札を差し替えてもらうことになります。
連盟に登録している団体名（文字）であること。

凡例	○○○	← 所属団体名（「兵庫」ではいけません）
	神	*例 神戸剣道クラブ→「K.K.K」もいけません。
	戸	← 黒色または紺色の布製 (所属団体名・姓は白色とする)

8. 参加料

1人につき 1,000円（傷害保険料を含む。）

9. 申込方法

別添「予選会申込書」に参加料を添えて申し込みください。
*他府県で段位を取得された方は、証書のコピー又は、段位取得証明を添付してください。

10. 申込期日

平成30年12月10日（月）必着
*締め切りが早いですが、年末・年始の郵便混乱期を避けるため
ご協力ください。

12月の行事等のお知らせ

審 査 会

◆ 剣道段位（初～三段）審査会 ◆

- | | |
|----------|--|
| (1) 日 時 | 平成30年12月16日（日） 午前9時受付 |
| (2) 会 場 | ベイコム総合体育館（尼崎市記念公園）
尼崎市西長洲町1-4-1 |
| (3) 受審資格 | ① 当連盟の会員であること。
② 受審申込書の受審資格欄を参照してください。
*初段は満13歳以上の方が受審できます。
年齢基準 審査日の当日（12月16日） |
| (4) 審査科目 | ① 実技
指導者の方は、間合・打つべき機会等を考慮して、掛り稽古の
様にならないよう、十分指導されるようお願いいたします。
② 日本剣道形（実技審査合格者のみ）
③ 学科（実技・日本剣道形審査合格者のみ） |
| (5) 学科問題 | 下記4問のうち2問出題します。
剣道学科試験問題・解答集（平成9年4月1日改定）より出題 |
| (初・二段) | ① 剣道具のつけ方について注意すべき点を書きなさい。
② 面技を5つ書きなさい。
③ 打つべき機会について4つ書きなさい。
④ 剣道修練の心構えを4つ書きなさい。 |
| (三 段) | ① 間合について書きなさい。
② 剣道の四戒について説明しなさい。
③ 日本剣道形修得の大切な理由を4つ書きなさい。
④ 剣道修業の目的と効果を4つ書きなさい。 |
| (6) 登録料 | 級・段位審査料等並びに登録料一覧表（H29.4.1 一部改正版）を
参照してください。 |
| (7) 会 費 | 少年団体・学校団体から受審した合格者は、登録料に加えて会費
（2,000円）を納入する必要がありますので用意しておいてください。 |
| (8) 申込方法 | 受審申込書に審査料を添えて申し込みください。 |
| (9) 申込期日 | 平成30年12月 3日（月）必着 |

◆ 剣道級位審査会 ◆

- | | |
|----------|---|
| (1) 日 時 | 平成30年12月22日（土） 午前9時受付 |
| (2) 会 場 | 神戸市立王子スポーツセンター
神戸市灘区青谷町1-1-1 |
| (3) 受審資格 | ① 当連盟の会員であること。
② 受審申込書の受審資格欄を参照してください。 |

- (4) 受審課目 ①「一級審査実施要領」
②「木刀による剣道基本技稽古法 基本1～9」(一級審査実施要領合格者のみ)
(木刀は規格[全長102cm]の太刀を使用してください。)
- (5) 登録料 級・段位審査料等並びに登録料一覧表(H29.4.1 一部改正版)を参照してください。
- (6) 入会金 少年団体・学校団体から受審した合格者は、登録料に加えて入会金(1000円)を納入する必要がありますので用意しておいて下さい。
- (7) 申込方法 受審申込書に審査料を添えて申し込みください。
- (8) 申込期日 **平成30年12月10日(月) 必着**

講習会

◆ 日本剣道形講習会 ◆

1. 日時 平成30年12月 2日(日) 午前9時受付
2. 会場 ベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)
尼崎市西長洲町1-4-1 TEL06-6489-2027
3. 対象者 剣道初～五段受審者等
* 称号受審予定者は必ず受講してください。
* 剣道六段以上受審予定者の受講もお勧めします。
4. 講師 派遣講師 剣道教士池田 友映
地元講師 剣道教士 地区講師
5. 講習内容 日本剣道形の解説及び実習
6. 資料 「日本剣道形解説書」をご持参ください。当日販売(200円)もあります。
7. 受講料 1人につき 2,000円
8. 携行品 剣道着、袴、垂、木刀(四段以上受審者は小太刀も)、筆記用具
9. 申込方法 講習会申込書に受講料を添えて申し込みください。
10. 申込期日 **平成30年11月19日(月) 必着**
* 会場の事情により申込多数の場合は申込期日前に締め切る場合がありますので、ご了承ください。

年末行事

★ 稽古納め ★

今年の連盟の稽古は、この日を以って終了します。

- (1) 日時 平成30年12月24日(月祝) 10:00～12:00
- (2) 会場 神戸市立王子スポーツセンター
【剣道】 剣道場
【居合道・杖道】 身障体育館

* 稽古終了後、会議室にて懇親会を開催する予定です。皆さんのご参加をお願いします。参加費はいりません。参加される方は公共の交通機関をご利用ください。

大会報告

◇ 第57回 全日本女子剣道選手権大会 ◇

9月23日(日)長野県長野市 ホワイトリングで見出しの大会が開催されました。兵庫県からは、太田朱音・竹田香波 選手が出場しました。戦績は、下記のとおりです。

- | | | | | |
|-----|-------|---|---|-----------|
| 1回戦 | 太田 朱音 | — | メ | 小松 加奈(青森) |
| | 竹田 香波 | — | メ | 名越 友美(広島) |

◇ 第73回 国民体育大会 「福井しあわせ元気国体2018」 ◇

9月30日(日)から10月2日(火)まで、福井県立武道館(福井市)において標記の大会が開催されました。本県は成年男子、成年女子、少年女子の3部門に出場しました。戦績は下記のとおりです。

少年女子	1回戦	兵庫	2	—	3	愛媛
成年女子	1回戦	兵庫	3	—	0	神奈川県
	2回戦	(五位)	0	—	3	福井
成年男子	1回戦	兵庫	3	—	2	島根
	2回戦		1	—	4	東京

◇ 第45回 全日本杖道大会 ◇

10月14日(日)久留米総合スポーツセンターに於いて標記の大会が開催されました。当県選手の戦績は下記のとおりです。

代表選手 監督 白井 慶子

(初段の部)	大原 進吾・竹村 遼平	二回戦
(二段の部)	安藤 佑胡・上山 緑	一回戦
(三段の部)	安藤 光佑・中村 元哉	優秀賞
(四段の部)	安藤 光春・荻野 春菜	四回戦 ベスト4
(五段の部)	鈴森 友真・中嶋 嘉彦	五回戦 ベスト4
(六段の部)	角田 紘子・作田 健蔵	三回戦 ベスト8

◇ 第53回 全日本居合道大会 ◇

10月20日(土)茨城県武道館に於いて標記の大会(都道府県対抗優勝試合)が開催されました。当県選手の戦績は下記のとおりです。

代表選手 監督 大下 政一

(五段)	谷口 剛	三回戦 ベスト16
(六段)	隠岐 充啓	二回戦
(七段)	木村 通男	一回戦
兵庫県 第26位		

審査会報告

[9月24日(月祝)神戸市立王子スポーツセンター]

段 位	受審者 (名)	実技合格 (名)	形不合格 (名)	学科不合格 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
四 段	99	33	0	0	33	33.3
五 段	61	29	0	0	29	47.5

事務局からのお知らせ

現在、スポーツ・インテグリティ保護・強化に向けた取組について、国際オリンピック委員会や国際競技連盟、世界アンチ・ドーピング機構等の国際スポーツ統括組織の他、欧州諸国をはじめとした政府機関等において活発に議論され、対策が進められています。

スポーツ庁長官より「我が国のスポーツ・インテグリティの確保のために」のメッセージが出されています。日本スポーツ協会のホームページ等でご確認ください。

また、「今後の地域スポーツ体制の在り方について(ジュニアスポーツを中心として)」の提言が策定されています。日本スポーツ協会のホームページ等でご確認ください。

日本スポーツ協会ホームページ (<http://www.japan-sports.or.jp>)

スポーツ庁ホームページ (www.mext.go.jp/sports/)